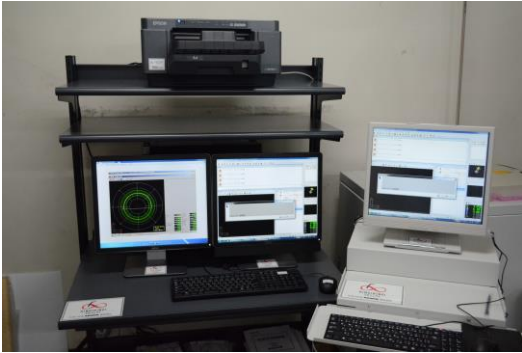


事業者名	茨城県								
機器名	デジタルマイクロスコープ								
写真									
特徴・用途	特別な前処理無しで、～5,000倍の広範囲の拡大率での試料観察、画像収集を行う。凹凸の激しいサンプルでも、オートフォーカス機能や3次元観察機能等により、深さ方向にも全体的に焦点を合わせることが可能。拡大画像による各種(長さ、幅、高さ、面積等)計測が可能。								
設置場所	茨城県工業技術センター 繊維工業指導所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成27年10月	8	0	3	0	0	0	5	8
	平成27年11月	7	0	4	0	0	0	3	7
	平成27年12月	14	0	9	0	0	0	5	14
	平成28年1月	3	0	0	0	0	0	3	3
	平成28年2月	5	0	0	0	0	0	5	5
	平成28年3月	16	0	13	0	0	0	3	16
	平成28年4月	16	0	1	1	5	7	7	16
	平成28年5月	11	0	0	0	0	6	5	11
	平成28年6月	10	1	0	0	0	3	6	10
	平成28年7月	12	0	3	0	0	2	7	12
	平成28年8月	11	0	3	0	0	3	5	11
	平成28年9月	14	5	4	4	5	1	3	17
	平成28年10月	10	25	1	2	2	3	3	34
	平成28年11月	12	0	1	1	1	5	5	12
	平成28年12月	12	0	1	1	2	5	5	12
	平成29年1月	11	0	1	1	1	3	6	11
	平成29年2月	10	0	0	0	0	3	7	10
	平成29年3月	19	3	3	0	0	5	10	21
利用者等の声	<p>数倍～数十倍の低倍率での観察では、色情報も高精度に観察ができるため、論文中の画像に使用する予定である。／サンプルの表面や断面の粗さについて、計測データの収集ができて便利である。／焦点深度が深いため、織物の組織確認には最適な機器であると思う。／真空状態で使用する電子顕微鏡では難しかった、揮発成分を有するサンプルの観察ができ、高画質のカラー画像データ取得が可能であるため、何回か使用させてもらっている。／紙の観察(50倍程度)では、電子顕微鏡と遜色無い画像がカラーで取得できて良いと思う。また、サンプルを小さく切ったり前処理でカーボンや金を蒸着することも無いため、観察前と同じ状態を保つ事が可能な点はとても便利である(貴重な少量の試料が無くなってしまいう心配が無い)。／これまで電子顕微鏡で画像を取得していたが、高画質のデータを得るためには前処理や細かいピント合わせの作業が必要であったが、当該機器では直ぐに、簡単な操作で画像が取得できるため、また利用したい。</p>								
補助事業概要の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-034koho.pdf								

事業者名	茨城県								
機器名	三次元測定機制御装置								
写真									
特徴・用途	<p>一般的に寸法検査に利用されているノギスやマイクロメータでは測定ができない三次元形状の測定が可能であり、また非常に高精度な測定が可能であるため、製品の検査だけではなく、製品を作るための金型など精密な測定対象の検査にも広く利用される機器である。</p>								
設置場所	茨城県工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成27年11月	2	0	0	0	0	0	2	2
	平成27年12月	5	0	2	1	2	2	0	5
	平成28年1月	2	2	0	0	0	1	0	3
	平成28年2月	4	2	0	3	7	0	0	5
	平成28年3月	6	7	1	1	1	0	1	10
	平成28年4月	4	10	1	0	0	0	0	11
	平成28年5月	4	15	2	1	3	0	0	18
	平成28年6月	4	13	2	0	0	0	0	15
	平成28年7月	3	7	0	2	6	0	0	9
	平成28年8月	5	1	2	2	3	0	0	5
	平成28年9月	4	6	1	1	3	1	0	9
	平成28年10月	4	7	0	1	4	0	0	8
	平成28年11月	5	7	0	2	7	1	1	11
	平成28年12月	7	51	1	3	13	1	0	56
	平成29年1月	5	7	1	1	2	0	0	9
	平成29年2月	5	8	0	3	8	0	0	11
	平成29年3月	8	13	0	5	10	0	0	18
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・自社では三次元形状の計測を行う設備を所有していないため、工業技術センターの設備を利用させて頂いている。 ・自社の測定結果と顧客受け入れ検査での結果が異なり、問題となっていたが、工業技術センターで計測して頂いた結果やその測定方法を顧客に話した事により両社の計測結果の差異に対する原因究明を行うことができた。 								
補助事業概要 の広報資料	http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h27/pdf/27-034koho.pdf								